



議会だより よつかいどう

発行：四街道市議会
TEL.043-421-6152

編集：広報広聴特別委員会
FAX.043-424-2016

〒284-8555 四街道市鹿渡無番地
E-mail:ygikai@city.yotsukaido.chiba.jp



**表紙写真
募集！**

新成人のつどいが開催されました

835人が新たな1歩を踏み出しました。

（場 所：文化センター
撮影日：平成30年1月7日
提 供：シティセールス推進課）

議会だよりでは、市民のみなさんからの公募写真を掲載します。
詳しくは16ページをご覧ください。

主な内容

- 第7回議会報告会について……………2～3
- 主な議案の概要及び委員会審査概要…4～7
- 採決結果一覧…7～8
- 一般質問……………8～14
- 委員会行政視察報告……………15～16

次回の定例会は3月5日～3月28日の予定です

代表質問は3月14日～16日の予定です。

詳細は市ホームページをご覧ください。

本会議の傍聴は、開会30分前から受付をしています。

本会議の様子は、インターネットでもご覧になれます。

(生中継と録画中継があります)

市ホームページアドレス <http://www.city.yotsukaido.chiba.jp>

詳しくは議会事務局 TEL 043-421-6152 (直)までお問い合わせください。



第7回議会報告会

第7回議会報告会が11月18日(土)10時より文化センターにて議員21名と市民の皆さま19名による参加のもと開催されました。

今回の議会報告会も前回と同様で最初に全体会、その後は4グループに別れてのグループ対話が行われました。

全体会では広瀬委員長からの挨拶で開会し、岡田議長より6月・9月議会の議案や一般質問の概要についての報告がありました。その後、中島決算審査特別委員会委員長より平成28年度決算審査内容の概要についての報告があり、全体会は20分程度行われました。

グループ会では各グループごとに市民の皆さまから様々なご



全体会の様子



第1グループの様子

意見やご要望をいただきました。主な内容は次のとおりでした。

○第1グループ

議員6名 市民5名

・決算審査について、監査報告書に取り上げられていることがどうして報告に上がらないのか残念。

・経常収支比率は千葉県内でワーストワン、そういう話を市民に説明してほしい。

・今後、ごみ処理施設、庁舎建設など市債発行に頼るしかない。これはすべて将来の子ども

たちの負担になる。

・ハコモノのような今後も使えるようなものは作って良いんだという計画外の事業が多すぎる。

・人口が増え続けてきて、千葉県内では人口増加率は4番目だが、2025年には少なくなる。

市とすれば人口増を目指しているようだが、人口が増えれば負担も増えるし、市民の税金だけを頼りにしているのでは限界がくる。財源捻出をどうするのか。

・ふるさと納税はどのくらいあるのか。

・行政側に対する意見や要望については明確な答えを出せない部分もあると思うが、議会に対して出た意見については、しっかりと出した方が良いのでは。

○第2グループ

議員5名 市民5名

・今の関心は、次期ごみ処理施設がどこまで進んでいるかということ。平成33年10月稼働と聞いているが、併設の施設はどのあたりまで決まったのか。

・次期ごみ処理施設の建設費はどのくらいなのか。また国からの交付金はどのくらいなのか。

・温水プールについては年間の利用者は何人くらいいるのか。現在はみそら小学校やみそら幼稚園も利用しているが、閉鎖に



第2グループの様子

なれば大打撃になる。

・鹿島荘の浴場廃止の件、市内に公営浴場はないので設けてほしいといった声がある。市営でなくても安価で利用できる場所はほしい。誘致をしてほしい。

・市の審議会で6カ年計画の残り3年間委員を務めたが、市民の方の意見が出ない。意識が低いのではないか。行政とは「何かやってくれるところ」と思っている人が多い。

・市内にはゾーン30があるが30キロ以下で走っている車はいない。

・子どもたちがボール遊びできる公園がない。

・リバモア市と姉妹都市40年。一般市民に浸透していないように見える。歓迎の集いはなぜ四街道ではなく、都賀で開催され



第3グループの様子

たのか。

- ・ 政務活動費の使い方はどうなっているのか。
- ・ 議会報告会について議員自ら人集めをしたらどうか。「よめる」でも市議会日程や議会報告会について、配信を拡大してほしい。

○第3グループ
議員5名 市民4名

- ・ 経常収支比率については県下で一番悪いが、議員としてどう思っているか。もっと議員同士のディスカッションをしてほしい。また危機感を持ってほしい。
- ・ 家の周りにたくさん住宅ができて車の抜け道になっている。以前、スクールゾーンにできないかと自治会にお願いしたがダメだった。
- ・ 鹿島荘の浴場が突然なくなっ

た。どういうことか。ある日突然、説明会もなし。40年間何もしていない、点検してこなかったということなのか。何か代替え案がある説明があれば良いが、それすらもない。

- ・ 市税はサラリーマン世帯が多く、今後脱却しなければいけないと思う。

- ・ 近郊型農業について、四街道ブランドがあった方が良く。また高齢化で休耕田が増えている。アパートを建てる人が多い。
- ・ イオンが来るのか来ないのかどうなっているのか。来るのが条件ではないのか。空き地はどのような状況で、税金は支払っているのか。

○第4グループ

議員5名 市民5名

- ・ 市は黒字というが毎年20億円の借金返済。事業を起こす場合、市民によく相談してから進めてほしい。

- ・ 議員は市民の代表として行政に訴えてほしい。質問をしない議員がいる。質問しない議員は、議員としての仕事をしていない。

- ・ この街には何が大切な事業なのかを選別して、お金をいかに使わずに済む方法を検討してほしい。

- ・ イオンは本当に来るのか。佐



第4グループの様子

倉のユーカリに本店したので来そうもない。市とイオンの対話はどうなっているか。

- ・ 3・3・1号線は凍結すべきである。市税の無駄遣いではないか。第2工区にはお墓もある。

- ・ 都市計画道路の存続の見直しと常に優先順位を明確にしてほしい。

今回の議会報告会を終えて、市民の皆さんからは今後四街道市にとって大きな事業でもある次期ごみ処理施設建設に向けて、また施設内に建設予定の附帯施設の構想について、市庁舎建設についての意見や要望が多く寄せられました。

また、財政についてや都市計画道路について、イオン出店についてや子育て支援の充実など

様々な内容を議員と市民の皆様方で意見交換することができ、とても有意義なグループ会となりました。

また、私たち議員に対しても非常に厳しいご意見もいただきました。私たち議員は市民の皆様方の代表であるということに常に意識し、今後の議会活動に活かしてまいります。

また、今回の議会報告会に向けて、もっと市民の皆様が多く参加していただけるよう広報広聴特別委員会のメンバーとしても取り組んでいきます。

(坂本 弘毅記)

コラム



広報広聴特別委員会、開かれた議会を目指して勉強しています。

この写真は、国立市議会を視察したときのものです。

視察の詳細は次号に掲載します。

主な議案の概要及び委員会審査概要

今議会では、専決処分承認、条例の改正、平成29年度一般・特別会計補正予算など9件の議案と28件の陳情の審議や議決が行われました。

主な議案と委員会での審査内容は以下のとおりです。
(採決結果一覧はP7～8)

総務

議案第3号 四街道市一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について (可決)

〔提案理由〕 本案は、組織業務体制におけるグループ制を廃止し、係制に移行することに伴い、必要となる職の設置を行うとともに、組織運営の一層の円滑化を図るため提案されたものである。

〔質〕 グループ制から係制に改める経緯は。

〔答〕 定年退職者の増加や職員の年齢構成の変化に対し、現行の組織体制を見直しする必要が生じたため、職員アンケートや各課ヒアリングを実施しながら、人材育成・能力強化等の観点から係制へ改めることとした。

議案第4号 四街道市一般職の職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について (可決)

〔提案理由〕 本案は、人事院及び千葉県人事委員会の給与改定に関する勧告に準じ、一般職の職員等の給料及び手当の支給額並びに支給割合を改定するため、その他所要の規定の整備を行うため提案されたものである。

〔質〕 55歳を超える職員の昇給措置を廃止することだが、対象者は何人か。

〔答〕 今回の対象者は88人である。

議案第5号 平成29年度四街道市一般会計補正予算(第3号) (可決)

補正の内容は、既定の歳入歳

出予算の総額に歳入歳出それぞれ3億497万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ257億2734万9千円とするものである。

〔継続費については、庁舎等整備事業2件のうち1件を追加し、1件を変更するものである。〕

〈総務常任委員会所管事項〉

〔質〕 国際交流事業54万4千円について、補正する経緯と実施時期について説明を。

〔答〕 リバモア市との姉妹都市締結40周年を記念した両市長訪問の計画について、当初予算に計上することは見送ったが、10月に、リバモア市議会議員ご夫妻がお見えになった返礼の意味を含め、当市としては、短期留学生を派遣する平成30年3月14日から22日の時期に、市長代理を派遣するため、補正予算を計上するものである。

〔質〕 継続費を変更する庁舎整備基本設計委託料342万2千円の減額について、契約額や契約業者は確定したのか。

〔答〕 プロポーザル方式により選定した結果、基本設計の全体契約額は、4488万4800円で、29年度分は1795万3920円、

30年度分は、2693万880円で、業者は、株式会社INANA新建築研究所である。

〔質〕 軽自動車税等賦課事業と住民税賦課事業の手数料9万円について、30年度から納税通知書を変更するシステム改修と説明があったが、具体的な内容は。

〔答〕 課税課、国保年金課等で発行している納税通知書の様式を、極力、統一化することで経費削減を期待するものである。その準備として、コンビニ振込み作業等の確認を含めたシステム改修手数料である。

〔質〕 地域災害対策事業のコミュニティ助成事業助成金2百万円の減額について詳細を。

〔答〕 市内3地区から要望のあった災害発生時の発電機やテントなどを自治総合センターに要望したが、今年度は不採択であったため、減額補正するものである。来年度も地区要望を取りまとめ、申請したいと考えている。



都市環境

議案第5号 平成29年度四街道市一般会計補正予算(第3号) (可決)

〈都市環境常任委員会所管事項〉

質 市民農園整地業務委託料54万5千円の主な内容は。

答 3つある市民農園において、今宿市民農園で40区画、打越市民農園で20区画、大割市民農園で30区画、それぞれの農園ごとに所有者へ返却するため、借りていた区画や空き区画を集約しつつ、元の畑として使えるよう整地し、復旧する内容である。

質 消費者教育推進事業の消耗品23万8千円は、冊子購入とのことだが、活用方法について説明を。

答 『くらしの豆知識』という冊子を購入し、消費生活講座や出前講座での参加者配布や、消費生活センター等で活用する予定である。

質 道路維持事業の工事請負費5百万円について、具体的な工事場所などは決まっているのか。

答 緊急的な工事や市民要望に対応するための小規模な工事

を想定しているもので、具体的な工事場所は決まっていない。

質 市営住宅施設管理事業の工事請負費418万9千円について、詳細な説明を。

答 平成29年度に入り、給水揚水ポンプの故障による交換工事や漏水に伴う改修工事など突発的な工事が発生し、優先して工事した結果、4件の退去時工事の予算額に不足が生じたため、補正要望するものである。

議案第9号 平成29年度四街道市一般会計補正予算(第4号) (可決)

補正の内容は、債務負担行為について、次期ごみ処理施設整備及び運営事業を追加するものである。

質 債務負担行為限度額260億円の積算根拠について、内訳は。

答 基本計画をつくる段階では、プラントメーカーの見積もりを参考に、消費税額抜きで、建設工事費を約111億7700万円、20年間の運営・維持管理費を119億7700万円と算出し、本補正予算の計上に際しては、仕様を示して、再度、見積もりを依頼し、全国都市清掃会議の意見を参考に、消費税を含

め、積算したものである。項目ごとの内訳は、入札に影響があるので答弁は差し控えたい。

質 仕様の変更内容や、仕様変更による削減額は。

答 ピット容量や外壁の部材などの仕様の変更である。削減額については、入札に影響するので答弁は差し控えたい。

質 DBO方式の削減効果は、どのくらいか。また、VFMは何%と見込んでいるのか。

答 現在の運営費との比較では、大規模修繕工事を含めると20年間では、48億円、年額2億4千万円の削減効果を見込んでいる。VFMは、概ね2%を見込んでいる。

質 交付金約41億3百万円について、交付金を変更した理由は。

答 マテリアルリサイクル推進施設分の交付金は、循環型社会形成推進交付金のままであるが、次期焼却施設分の交付金については、処理能力100t未満の施設では、売電メリットが見込めないため、循環型社会形成推進交付金より有利な二酸化炭素排出抑制対策事業費交付金を選定した。

※1 DBO方式 (Design Build Operate方式) とは、設計・建設・

運営を一括して委ねる事業手法

※2 VFM (Value For Money) とは、従来方式で実施する場合の事業費とPFI方式に準じたDBO方式で実施する場合の事業費の現在価値換算額とを比較して、削減できる費用の割合

教育民生

議案第2号 四街道市子ども・子育て会議条例の制定について (可決)

【提案理由】 本案は、地方自治法第138条の4第3項に規定する附属機関として新たに設置するため提案されたものである。

質 幼稚園と保育園の連携、認定こども園の関係は。

答 子ども・子育て支援法に基づく認定こども園や、就学前の子供関係で、こどもプランに位置づけられる施策については、子ども・子育て会議の所掌事務となる。



議案第5号 平成29年度四街道市一般会計補正予算(第3号) (可決)

〈教育民生常任委員会所管事項〉

【質】 歳入の「子どものための教育・保育給付費負担金」と「保育士処遇改善事業費補助金」について、保育士処遇改善にかか

【答】 子どものための教育・保育給付費負担金は、国の処遇改善施策に係る国、県の負担金であり、全職員分と経験年数や研修を考慮した保育士処遇改善分として、歳出では、保育所運営委託料5047万3千円を補正計上するものである。また、県の保育士処遇改善事業費補助金は、常勤に換算できる保育士1人当たり、県が1万円、市が1万円の計2万円分を保育士の処遇改善に充てる補助金で、歳出では、施設振興費等補助金2476万円を補正計上するものである。

【質】 病児・病後児保育事業負担金800万円について、下志津病院の施設整備や受け入れの状況について説明を。

【答】 負担金800万円は施設整備の費用分で、2月中に病棟改修を終えて、4月1日に開所・受け入れ開始する予定である。

受け入れ定員については、協議中で、病児、病後児とも4名の予定である。

【質】 小学校施設管理事業と中学校施設管理事業の一般管理用備品購入費27万5千円と20万2千円の内容は。

【答】 四和小学校と四街道北中学校において、平成30年度から、それぞれ1教室増加することが見込まれるため、教室に必要なロッカーやカーテン等の備品を購入する費用である。

【質】 小・中学校給食運営委託や北部と東部の学校給食共同調理場給食運営委託について、債務負担行為限度額の内容は。

【答】 それぞれ調理業務委託の算出基準に基づき、人員配置、直接物品費などを設計し、概ね、これまでの実績と同程度の金額となっている。

議案第6号 平成29年度四街道市国民健康保険特別会計補正予算(第2号) (可決)

補正の内容は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ8203万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ110億1324万5千円とするものである。

【質】 一般被保険者高額療養費3393万円について、昨年と比較すると増加しているが、その要因は。

【答】 高額療養費の当初予算は、過去3年間の増減率などを踏まえて編成するが、今年度は、昨年度と比較して上半期実績の増加が大きく、増額補正となった。高額療養費の増加要因としては、被保険者数が年々減少している中で、医療技術が進歩・高度化し、調剤なども高額となってきたためと考える。

陳情第17号 住民の健康増進と2020東京オリンピック・パラリンピックにむけて受動喫煙防止条例の早期制定を求める陳情書 (不採択)
陳情第27号 四街道市における、受動喫煙防止対策に関する陳情書 (採択)
陳情第28号 受動喫煙防止対策についての陳情書 (採択)

【質】 国の受動喫煙に関する法案等の審議過程は、どうか。

【答】 国では、厚生労働省が、平成29年3月に健康増進法改正に向けて、受動喫煙防止対策の強化について、室内の喫煙についての基準設定を示したが、飲食

店の取扱いについて協議がまとまらず、国会への法案提出時期は未定となっている。今後については、2019年9月のラグビーワールドカップ日本開催までに施行を目指しているということである。

【質】 市内部での条例制定に向けた論議は、どうか。

【答】 受動喫煙による健康被害防止を目的とした条例の制定については、国に健康増進法改正という動きがあり、県もその動向を注視したうえで条例制定を控えている状況であり、市としては、オリンピック開催に向けた国や県の動きと整合性を図るため、現在、市単独の条例による規制は、想定していない。

【質】 受動喫煙を防ぎようのない子どもたちへの対応や、健康被害に対する情報発信は。

【答】 子どもたちへの対応は、乳幼児の保護者を対象に対策を進めており、一般向けの対策は、世界禁煙デーや、禁煙週間でのポスター掲載や市政だよりの健康コラム掲載、各種健康教育などで普及啓発に努めている。



陳情第4号、第5号、第6号、第8号、第10号、第11号、第13号 国民保養センター鹿島荘の浴場廃止の「説明会」及び「営業継続」に関する陳情（不採択）

陳情第7号、第9号、第12号、第14号、第15号 国民保養センター鹿島荘浴場の「営業継続」に関する陳情（不採択）

陳情第16号、第19号、第21号、第23号、第25号 国民保養センター鹿島荘の浴場の「廃止説明会の開催」に関する陳情（不採択）

陳情第20号、第22号、第24号、第26号 鹿島荘浴場の「廃止説明会は、廃止後でなく事前に」に関する陳情（不採択）

陳情第29号 鹿島荘浴場の「廃止に伴う現地現場（煙突）説明会」に関する陳情（不採択）

陳情第30号 鹿島荘浴場の「廃止に伴う現地現場（浴場ポイラー室）説明会」に関する陳情（不採択）

陳情第31号 鹿島荘 浴場の「廃止に伴う現地現場（温水管ルート）説明会」に関する陳情（不採択）

陳情第32号 国民保養セ

ンター鹿島荘浴場廃止の「チャントした説明会」に関する陳情（不採択）

※陳情の件名、趣旨及び内容が同一の陳情はまとめて掲載しています。

質 浴場の廃止について、利用者への説明が不十分ではなかったか。

答 9月28日から約1カ月間、鹿島荘の館内でのお知らせ文書の掲示と配布、及び市ホームページへの掲載をもって、説明会に代えることで十分だと考えていたが、利用者の方から廃止に至った経過について文書だけでなく、説明会の開催要望があったので、11月16日に説明会を開催した。

質 陳情の趣旨としては、浴場の継続を希望するものと思うが、継続するため、煙突管のスペースを除去する工事が出来ないのか。

答 石綿障害予防規則第10条において、アスベストが飛散する恐れのあるものは、封じ込めの措置をしなければならぬため、現在、封じ込めしている煙突管を改修し使用することは考えていない。継続を検討するのであれば、新たな煙突管が必要となる。

平成29年第4回（12月）定例会採決結果一覧

全：全員賛成 多：賛成多数 少：賛成少数 ○：賛成 ×：反対 退：退席

番号	議案名	結果	阿部百合子	津島秀樹	大越登美子	西塚義尊	成田芳律	栗原愛子	関根登志夫	中島康一	栗原直也	坂本弘毅	大谷順子	清水清子	※岡田哲明	戸田由紀子	石山健作	広瀬義積	山本裕嗣	森本次郎	高橋絹子	長谷川清和	阿部治夫	清宮一義
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	四街道市子ども・子育て会議条例の制定について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	四街道市一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	四街道市一般職の職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	平成29年度四街道市一般会計補正予算（第3号）	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	平成29年度四街道市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	平成29年度四街道市介護保険特別会計補正予算（第2号）	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	平成29年度四街道市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	平成29年度四街道市一般会計補正予算（第4号）	多	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○		○	○	×	○	○	○	○	○	○

前ページから続く

番号	議案名	結果	阿部百合子	津島秀樹	大越登美子	西塚義尊	成田芳律	栗原愛子	関根登志夫	中島康一	栗原直也	坂本弘毅	大谷順子	清水清子	※岡田哲明	戸田由紀子	石山健作	広瀬義積	山本裕嗣	森本次郎	高橋絹子	長谷川清和	阿部治夫	清宮一義	
陳情第4号	国民保養センター鹿島荘の浴場廃止の「説明会」及び「営業継続」に関する陳情	少	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○	×		×	×	○	×	×	×	×	×	×	
陳情第5号・第6号・第8号・第10号・第11号・第13号は陳情第4号と件名、趣旨及び内容が同一です。		みなし不採択（すでに不採択とされた陳情と同一のものは同様に不採択とするもの）																							
陳情第7号	国民保養センター鹿島荘浴場の「営業継続」に関する陳情	少	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○	×		×	×	○	×	×	×	×	×	×	
陳情第9号・第12号・第14号・第15号は陳情第7号と件名、趣旨及び内容が同一です。		みなし不採択（すでに不採択とされた陳情と同一のものは同様に不採択とするもの）																							
陳情第16号	国民保養センター鹿島荘の浴場の「廃止説明会の開催」に関する陳情	少	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×		×	×	○	○	○	×	×	×	×	
陳情第19号・第21号・第23号・第25号は陳情第16号と件名、趣旨及び内容が同一です。		みなし不採択（すでに不採択とされた陳情と同一のものは同様に不採択とするもの）																							
陳情第17号	住民の健康増進と2020東京オリンピック・パラリンピックにむけて受動喫煙防止条例の早期制定を求める陳情書	少	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×		×	×	○	○	○	×	×	○	×	
陳情第20号	鹿島荘浴場の「廃止説明会は、廃止後でなく事前に」に関する陳情	少	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×		×	×	○	○	○	×	×	×	×	
陳情第22号・第24号・第26号は陳情第20号と件名、趣旨及び内容が同一です。		みなし不採択（すでに不採択とされた陳情と同一のものは同様に不採択とするもの）																							
陳情第27号	四街道市における、受動喫煙防止対策に関する陳情書	多	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○		○	○	×	○	○	○	○	○	○	
陳情第28号	受動喫煙防止対策についての陳情書	多	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○		○	○	×	○	○	○	○	○	○	
陳情第29号	鹿島荘浴場の「廃止に伴う現地現場（煙突）説明会」に関する陳情	少	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×		×	×	○	○	○	×	×	×	×	
陳情第30号	鹿島荘浴場の「廃止に伴う現地現場（浴場ボイラー室）説明会」に関する陳情	少	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×		×	×	○	○	○	×	×	×	×	
陳情第31号	鹿島荘浴場の「廃止に伴う現地現場（温水管ルート）説明会」に関する陳情	少	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×		×	×	○	○	○	×	×	×	×	
陳情第32号	国民保養センター鹿島荘浴場廃止の「チャントした説明会」に関する陳情	少	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×		×	×	○	○	○	×	×	×	×	

※議長（岡田 哲明）は、採決には加わりません

一般質問

第4回定例会では12月7日から8日、11日から14日の6日間、18人の議員による一般質問が行われました。この中から質問項目を要約して掲載します。

詳しくは、市立図書館、市役所2階の情報公開室に設置の会議録、または市ホームページの会議録検索でご覧いただけます。（2月下旬予定）

各議員が行った質問については、紙面の都合により、一部だけを掲載しました。

市ホームページアドレス：<http://www.city.yotsukaido.chiba.jp>



市長の政治姿勢を問う

阿部治夫議員

問 子育て日本一のまちづくりについて、佐渡市長も2期目の総仕上げの時期になったが、この4年間を振り返りこれまでの成果と総括について伺う。

答 2期目も市民の皆様と協働しながら「子育て日本一のまち」に向かって取り組みを進め、子育て環境の充実において、多くの進展があったと考えている。特に、平成28年の合計特殊出生率は、全国平均を上回り、県内では3番目に高い数値となるなど、一定の成果もあった。今後も、引き続き次代を担う子どもたちのために、活気あふれるまちづくりに取り組みたい。

問 通学路の安全対策について、本市の通学路で危険箇所があればその対策について伺う。

答 通学路の安全対策については、学校からの改善要望を基に、教育委員会等で合同点検や危険箇所の現地調査を行っている。この調査結果により、関係各課と協議し、注意喚起看板や交通安全施設等を整備するとともに、県や国に安全対策を要望している。

問 震災対策について、本市の震災で最も懸念されることは何か。その対策について伺う。

答 本市は今まで震災による大きな被害を受けた経験が無く、市民や職員の防災に対する意識が希薄である事である。対策としては防災訓練等を通じ啓発するとともに正しい知識を習得できるように機会があることに直接市民、職員に話をし理解を深めて参りたい。

子どもたちの未来のために

坂本弘毅議員

問 学校給食にて北部共同調理場でおきた異物混入事件について詳細な説明を伺う。

答 9月5日に南小、八木原小、千代田中に米飯加工業者から納入された米飯箱の表面などに赤褐色の異物が付着していたため、一部で喫食ができなかった。他の学校については付着はなかった。専門の研究所による検査の結果、付着物は血液との報告があった。

問 絶対にあつてはならないことが起こってしまったが再発防止に向けた教育委員会の取り組みはどうか。

答 契約者である学校給食会に対して、再発防止の徹底を指示した。

問 不登校やいじめの認知件数が全国的にも過去最多となっているが本市として今後どのような対策を講じていくか。

答 いじめに関する対策として、取り組みの重点を示して市内全教職員の共通理解を図っている。不登校に関する対策としては、関係機関等との効果的な連携のあり方等について教職員の研修の機会を設けている。

問 学力テストが実施されたが本市の学力レベルはどうなっているか。

答 小学校国語・算数、中学校国語は、全国と同程度、中学校数学は全国を下回る結果となっている。

問 鹿島荘の温浴施設の廃止に伴い市民の関心は次期ごみ処理施設の附帯施設に寄せられているがどのような構想で進んでいるか。

答 附帯施設等基本構想を、庁内手続きやパブリックコメントなどを行い、策定作業を進めている。

安全な学校給食の提供について

栗原愛子議員

問 本市の学校給食は自校式とセンター方式があるが、それぞれのメリット、デメリットを伺う。

答 メリットとして、自校式は調理時間に余裕がある。センター方式はランニングコストが縮減される。デメリットとして、自校式は必要経費が割高である。センター方式は、配送時間を考慮した調理を行う必要がある。

問 他県で過去に食物アレルギーによるアナフィラキシーの疑いで女子児童が死亡したという事故があったが、本市では食物アレルギーを持つ児童生徒についてはどのように対処しているのか伺う。

答 食物アレルギー対応指針に基づき、学校全体で情報を共有している。

問 献立表の内容でエネルギーの他、摂取しなければならぬ栄養について配慮はあるのか伺う。

答 「学校給食摂取基準」で示す各栄養素の基準値に基づき設定されており、肥満や高血圧などの生活習慣病につながる恐れのある脂質と食塩は少なめに設定し、献立を作成している。

問 業者に委託をしている学校給食において虫や髪の毛等、異物混入する異常事態が続いたと問題になったことがあるが、本市において、給食調理について、どのような衛生管理体制をとっているのか伺う。

答 学校給食衛生管理基準に基づき、学校給食調理従事者や学校給食配膳員に対し、研修会を毎年実施し、衛生管理に努めている。

偽装公共事業の果てに条例違反！

大谷順子議員

問 次期ごみ処理施設用地と隣接地の窪地解消を目的に、残土埋立てが行われており、市は公共事業なので残土条例の適用除外とのことだが、適用除外の意味は。

答 事業主体である公共団体等が責任を負い、適正な管理を委ねることができることから、特定事業の許可を不要とするものである。市は公共事業として何をやっているのか。

問 将来的に清掃施設を建設する前に、土地を平坦化し、面積の有効利用を図っている。構造上の基準や土砂等の安全基準など市はどの範囲まで守っているのか。

答 搬入された土砂は、発生元証明、地質分析結果証明書を添付し、土壌調査、水質調査も行っている。

問 条例の基準から言うと、発生元証明書は24通不足しており、地質分析証明書がない土砂は2万5315m³ある。また、地質・水質検査は21回以上やるべきところを1回しかやっていない。これで安全と言えるのか。

答 特定事業許可適用除外であるため、許可時の添付書類とは違う。また、地質・水質検査は、適用除外の場合、回数などの基準はない。

問 適用除外の条件である適正な管理ができていないのか。

答 適用除外であっても、公共事業として、隣接地権者及び現場工事の指導を徹底していく。

市内小中学校のトイレの洋式化について

関根登志夫議員

問 昨年度は和良比小、四街道小。本年度は四街道北中、四和小のトイレの洋式化が行われた。トイレの洋式化率を近隣他市と比較するとどのくらいの達成状況になっているか伺う。

答 市内小中学校のトイレ洋式化率は、平成28年4月1日現在で、48・2%となっており、印旛地区内の市の平均47・7%、千葉県平均45・3%、全国平均43・3%を上回る設置率である。

問 まだ、児童生徒数に対して洋式トイレの設置割合が少ない小中学校もあると思うが、来年度の洋式化の実施について伺う。

答 今後も児童生徒数に対して、洋式便器の設置率が低い学校を中心に、順次整備を進める。

問 四街道西中グラウンド地下の雨水地下貯留施設工事の進捗状況について伺う。

答 平成28年度は、流入流出施設及び約1千tの雨水地下貯留施設を整備し供用している。残りの貯留施設約2千tについても、本年11月から工事を進めており、完成は平成30年3月を予定している。

問 工事完了後はグラウンドとして使用できるようしっかりとグラウンド面を整備した上で、原状復帰を望むかがか。

答 グラウンドの復旧は、四街道西中学校及び教育委員会と立会いを実施して原形復旧する。

買ひもの難民対策について

清宮一義議員

問 地方行政の原点は、市民生活の向上であり、身近に起こる様々な問題を真正面から受け止めその問題解決に努めてまいり所存。

都市計画道路3・3・1号線、国道51号線四街道工区、佐倉市坂戸交差点は、同時進行しなければならぬが進捗状況と都市計画道路3・3・1号線2工区の主な問題について伺う。

答 市事業箇所都市計画道路3・3・1号線は、全ての用地取得が完了し、占用物件の移設工事や橋梁の下部工事を進めている。成台中土地区画整理事業区域内は、平成30年度末の完成を予定している。

問 自動車運転免許証の返納等に伴い外出に支障をきたしている等、買ひ物難民が増大していると聞いているが、市では、どのような対策を考えているのか伺う。

答 対策の一つとして、宅配業等事業者リストの作成を進めており、今後も登録事業者をさらに増やし、市ホームページ等での公表や市役所窓口での配布を実施する予定である。

問 ごみ焼却場の現状と次期事業の進捗状況について、みそら地域との補償を含めた話し合いの状況及び吉岡地域との話し合い、その他関連地域の交渉状況について伺う。

答 みそら自治会との間で、2回の調停委員会が開催された。吉岡区とは、連絡協議会を開催し、施設建設及び地域振興事業等の協議を進めている。また、その他関連地域への説明も適宜行っていく。

後期にむけて、市の姿勢を問う！

大越登美子議員

問 全国学力学習状況調査の経年的比較において、分析結果をもとに児童生徒への指導改善が反映されていないのではいか伺う。

答 28年度の中学校では全国学力学習状況調査で全国平均を下回っているが、2月に実施した県標準学力検査の結果は県平均を上回っており、各学校において全国学力学習状況調査の結果をよく分析して指導にあたった結果ととらえている。

問 分析、数字は非公開であるが、このままでよいか伺う。

答 全国学力学習状況調査については、点数を含めてすべてを公開している。県標準学力検査は、県が公表していないため、点数ではなく、県平均を上回る等の形で公表している。

問 旭中学校新通学路の今後の整備計画を伺う。

答 市が施工する南波佐間3号線は、道路幅員構成等について、検討を行なっており、吉岡十字路交差点部につきましては、千葉県において、今年度末の完了を目指し、延長約318m、幅員約18mで整備を進めている。

問 再配置計画に当ってはまる地域において、住民との合意形成はどのように図られるか伺う。

答 公共施設再配置計画の素案をたたき台に、市民によるワークショップでの議論を得たいと考えている。その後、パブリックコメントの実施も考えており、市民の理解を得た計画となるように努める。

ペットとの共生社会

西塚義尊議員

問 市内でのペットに関する市民からの苦情には、どのようなものがあるか。また、その対応は。

答 犬は、糞害、鳴声、逸走等があり、糞害防止看板の設置、鳴声、逸走に対する飼い主への指導を行っている。猫は、野良猫の糞害があり、勝手な餌やり防止看板の設置や野良猫との適切な関わりを広報している。

問 県内の犬・猫の殺処分数は動物愛護法改正以降、どのように推移しているか。

答 平成24年度、犬が1376件、猫が3364件であったものが年々減少し、平成28年度は、犬が181件、猫が971件となっている。

問 地域猫の取り組みを一部ボランティアの方々が懸命に行なっているが、本市における不妊・去勢手術に関しての助成の状況と今後の取り組みは。

答 団体に対して、千葉県による飼い主のいない猫不妊去勢手術事業を案内し、活用していただいている。今後も引き続き情報提供を行う等の支援をしていく。

問 災害時の避難所でのペットの対応について、市民に対して市からは、どのような広報を行なっているか。

答 飼い主自身が決められた飼育場所ですら責任で飼育管理を行えるよう、今後広報・啓発をしていく。



市長の政治姿勢を問う

中島康一議員

問 四街道インター出口の安全対策について、歩行者の安全対策の現状と信号機・横断歩道の改善について伺う。

答 四街道インター出口の横断歩道の表示が不鮮明になっていた箇所は、すでに補修していただいた。次に信号機・横断歩道の改善については、歩行者が横断歩道を安全に渡るよう、管理者である千葉県警察本部及び千葉県公安委員会に対し、四街道警察署を通じて要望していく。

問 公用車の交通安全事故防止対策について、職員による公用車事故の場合の処置と事故防止対策及び教育について伺う。

答 処置については、事故当事者が、発生状況の概要説明など事故報告書を作成し、市長に報告する。事故防止対策及び教育については、文書による安全運転の徹底についての周知を平成29年度は2回行なうとともに、安全運転教習や講習を人事課主催で年度ごとに3回実施している。

問 公共交通の充実について、免許返納高齢者の交通手段確保に向けた基本的な考え方について伺う。

答 免許返納の有無にかかわらず高齢者の移動手段の確保は、本市の公共交通における課題の1つとして捉えている。公共交通の利用者は、全体的に減少傾向にあることから、公共交通維持のためにも、既存のバス路線やタクシー等をご利用いただきたいと考えている。

JALやLCCと提携し、ふるさと納税を

森本次郎議員

問 めいわ・和良比地域におけるゾーン30の整備見通しは。

答 道路管理者の行うゾーン30指定区域内の交通安全施設整備は、平成30年3月の完成に向け工事を進める。

問 次期ごみ処理施設の建設費は基本計画によると111億円で、他施設と比べて割高であり工費縮減はできないか。

答 建設費は、施設規模によるスケールメリット、施設整備内容、建設時期などにより変わるため、他施設と単純に比較できない。

問 ふるさと納税が224万円と伸び悩んでいるので、認知度・露出を高めるため、JALの「ふるさとクーポン」とジェットスターの「フライトパウチャー」と提携してはどうか。

答 ふるさと寄附金については、全庁を挙げて取り組むとともに、幅広いご意見を賜りながら、魅力ある制度にしてまいりたいと考えている。

問 新庁舎建設により、総床面積が4千㎡増えることになるが、公共施設等総合管理計画では床面積4万㎡の削減を目指しており、市民生活への影響を極力避けるため、市庁舎の施工面積削減の工夫はできないか。

答 新庁舎の面積は、四街道市庁舎整備基本計画に基づき、必要な機能の効率的な配置や経費節減に努めながら計画を進めていく。

みどり 子育て選ばれる安心快適都市を目指して

清水清子議員

問 超高齢化対策に向けた施策について伺う。

答 地域包括支援センターの機能強化、在宅医療・介護の連携などを重点施策として「高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」の策定を進めている。

問 市内には85の区・自治会があり、自主防災組織が40の組織で立ち上がっている。100%に向けた取り組みについて伺う。

答 未設置の区・自治会それぞれの特性を踏まえながら発災時における自主防災組織が担う共助の重要性、必要性を説明し設立に向け引き続き努力していく。

問 小学校、中学校における避難訓練の現状と課題、また、保育所、幼稚園児の防災頭巾の利用について伺う。

答 市内小中学校では、火災、地震等を想定した避難訓練を計画的に実施している。今後、地域や関係機関との連携を強化しながら安全教育を推進していく。市内保育園及び幼稚園の防災頭巾の配備状況は、年齢によっても違うが、保育園17園のうち11園、幼稚園8園のうち7園、認定こども園1園が配備している。

問 千葉市、市原市、四街道市3市広域連携事業があるが、チバニアンプロジェクト構想を立ち上げたらいかがか。

答 森田知事が非常に熱い思いを持っており、千葉県全体のような大きなプロジェクトになるのではないかと。そのような中で果たすべき役割があれば是非協力したい。

外に出ることで健康長寿、タクシー割引券を!

阿部百合子議員

問 住宅リフォーム助成の申請がにぶい理由は何か。

答 市税の滞納がないことの証明書、市内業者の施工および工事内容を明らかにする図面添付があり、この3点が申請件数の増加しない理由と考えられる。

問 交通弱者へのタクシー割引券を出すことは、外出の機会が増え、健康寿命が延びること。医療費の抑制という発想の転換で、決断していただきたいかがか。

答 交流の場となるサロンや移動支援など多様なサービスを提供していくため、資源の調査を行っており、高齢者の孤立化防止や閉じこもり防止に向けた施策を構築し、地域での外出機会を増やしていきたい。

問 教科書採択会議は、滋賀県では道徳の教科書採択から、印旛地区と同様な単位の地区でも、全県で公開となった。印旛地区では会議は非公開と国で決まっているとのことだが地元が公開と決断すれば可能ではないか。

答 教科用図書印刷採択地区協議会の会議の公開、非公開については、四街道市が単独で決定できることではない。

問 教職員の労働実態で、四街道市では来春から道徳・英語・小中一貫教育の完全実施など、新たな業務内容が入ってくる中で多忙化と過重労働を心配する人が増やす時、正規職員での増員が重要。その受け止めを伺う。

答 教職員の多忙化解消のためには、教員の増員が望まれるため、これまでも様々な機会を捉えて要望をしており、今後も引き続き要望をしていく。

四街道市郷土歴史館の設立を

戸田由紀子議員

四街道市には我国最古といわれている3万5千年前の旧石器時代に人が住んでいたと確認される遺跡や2万8千年前の我国最古のペンダントが発掘されるなど全国に誇れる日本有数の歴史を保持している。これらの貴重な宝物を市民や子どもたちが日常的に気軽にいつでも目にふれる機会がないことは残念なことであり勿体ないと思う。郷土歴史館の設立を求める市民の動きがあつて久しい。そこで以下の2点について伺う。

問 郷土歴史館の設立にむけての課題は何か。

答 現在、八木原小学校内に開設している歴史民俗資料室及び埋蔵文化財などの収蔵品の管理や作業スペースとして10教室分を使用している。その他、みそら地区の文化財収蔵室などの箇所を含めると、全体で約1千㎡を使用している。今後、バックヤードなどの施設を含めると、現在利用している以上の広さを確保することが課題であると考えている。

問 現在策定中である市後期基本計画の中にきちんと位置づける必要があると考えるがいかがか。

答 現在の教育振興基本計画の中では、歴史民俗資料館として位置づけている。市の次期基本計画の中においても、同じような形で整備の方向性は出していきたい。



次期ごみ処理施設等用地への残土搬入工事の疑念解消を!

栗原直也議員

問 千葉県都市計画道路見直しガイドラインに対する検証経緯と過去10年間の都市計画道路の総事業費について伺う。

答 都市計画道路を点検した結果、存続の評価となった。平成19年度から平成28年度までの事業費は、約33億8千7百万円である。

問 交流移住コンシェルジュ事業におけるicoba四街道1丁目の位置付けと役割について伺う。

答 いんばの情報発信拠点として、いんば全体の交流人口の増加と移住促進の一端を担うことである。

問 市民参加条例における意見提出手続きの課題と意見交換会手続きの必要性について伺う。

答 意見提出手続については、適切な運用管理に努めている。また意見交換会手続については、意見提出手続を補完する手続として適切に運用していく。

問 次期ごみ処理施設等用地に関する隣接土地所有者との土地交換契約の概要と同意内容及び窪地解消工事の特定事業認可適用除外とされた法令上の根拠について伺う。

答 隣接地権者と窪地解消、土地交換等に関する契約を締結、土地の有効活用が図られるうえ、費用は隣接地権者の負担であるため合意した。また、法令上の根拠は、土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例第9条第1号により、地方公共団体が行う事業として適用除外とした。

コンビニ交付はいつになるのか

高橋絹子議員

今後の人口減少社会を見据え、少ない人数で、以上の仕事をやるシステムが今求められている。そのためには情報化を更に加速する必要があると思う。その観点で以下伺う。

問 文科省では「2020年までに一人一台のタブレット導入」との目標を掲げているが本市の導入時期は。

答 現在、全小中学校に各12台のタブレットを整備している。四街道市情報化推進計画に従って、関係各課と連携しながら整備を進めていく。

問 役所内ペーパーレス化の計画としてタブレット化が挙げられているが、取組状況は。

答 タブレット端末を活用した会議の導入については、インフラ整備も必要となることから、新庁舎を整備する中で検討する項目と考える。

問 マイナンバーカード交付率の高い本市のその利活用として、まず県内では既に13市2町で行っているコンビニ交付はいつ実施するのか。また「自治体ポイント制度」の実証実験が始まっているが、本市で実施する予定は。

答 コンビニ交付は証明書の交付場所や取扱時間が拡大され、市民の利便性の向上が図れることから、第9次情報化推進計画に位置づけ、平成31年度中の実施に向け準備を進めていきたいと考えている。自治体ポイント制度は先進自治体により実証事業が始まっており、本市においても、市民サービスの向上等につながることから、先進自治体の動向を注視していく。

広域化に伴う国保税の値上げは何と してもやめるべき

津島秀樹議員

問 来春4月から国保が広域化され、大幅な値上げが懸念される。「高すぎる国保税」は払いたくても払えない」と、多くの市民の悲鳴が聞こえる。市民の負担増を防ぐため、一般会計からの法定外の繰り入れを考えるべきだが、その考えはあるか。

答 千葉県の国保運営方針に「決算補てん目的の法定外一般会計繰入については、計画的な解消・削減に努めること」とされており、当市においてもこの運営方針を基本に予算編成を進めていく。

問 ごみ焼却施設建設地への違法残土投棄はないか。公共事業だと強弁し、条例や規則の適用除外としたのは納得いかないがどうか。

答 搬入された土砂は、発生元証明にて確認しており、市残土条例に反するような、残土の持ち込み等はない。また、今回の窪地解消工事は、公共事業として特定事業許可適用除外として実施している。

問 市民参加条例は正しく機能しているか。市民が必要とする情報を積極的に提供することが義務付けられている。改正をすべき点があると思うがいかかか。

答 市民参加条例の適正な運用を図るために、庁内組織として市民参加推進本部、附属機関として市民参加推進評価委員会を設置し、手続の実施状況等について審議を行う等、正しく機能していると認識している。

住みよい街づくりに向けて

山本裕嗣議員

人口減少が始まり多くの自治体が生き残りをかけて、いろいろな取り組みを始めている。「安心なまち」「便利なまち」「清潔なまち」など、住みよい街にするには、まず都市基盤の整備、ライフラインの整備が大切なことから4点伺う。

問 空き家対策の現状と対策は。

答 空き家の適正管理と有効活用方策が重要な課題と考えており、今年の3月に関係3団体と「空家等対策の推進に関する協定」を締結し、空き家の所有者に対して、相談業務を開始した。

問 歩道の整備状況（中央地区）について。

答 歩道の切り下げ部に車両の出入りにより、一部の箇所が平板ブロックのたつきが生じていたため、随時補修していく。また、県道歩道の一部にも損傷があったため、印旛土木事務所へ修繕を要望した。

問 公園遊具の管理について。

答 現在市内に157箇所ある都市公園の遊具管理は、指定管理者である地域振興財団に委託しており、管理人が常駐している公園は、ほぼ毎日遊具点検を行い、その他の街区公園は、月1回遊具点検を行っている。

問 下水道の整備（老朽化対策）（市街化調整区域の整備）について。

答 老朽化対策は管渠長寿命化計画に基づき推進を図っており、本年度旭ヶ丘地区で約320mの布設替えを実施している。市街化調整区域の整備は既存施設の老朽化対策を重点的に推進する必要があるため難しい。

次期ごみ処理用地への建設残土搬入 を質す

広瀬義積議員

問 市内の土地に、不法及び不適切な残土が入るのを阻止し、指導すべき市が、公共事業を理由に、不法投棄と疑われ、安全性の確認されていない残土の搬入をしていることは、許されない。そこで、市と土地交換契約をした隣地地主、工事を請け負った業者の3者で、予定より1万1千m³多く搬入されている土砂を11月中には搬出することだったが、いつまでに搬出するのか。

答 発生元証明で17万m³と確認している土砂の過剰搬入はない。次期用地内における窪地解消工事は、平成27年11月17日に交わした土地交換契約書に基づき、ほぼ完了している状況である。また、隣接地主の土地に1万1千m³高くなって部分は、移動させるということである。

問 今も土砂が山のような状態となっているが、これはどうなるのか。

答 この土砂については、国道51号の溢水対策と吉岡4号線への雨水流出対策のため、用地内に水路を掘っており、その土が盛られている。

問 コンクリートガラ等があるが、これから、どうするのか。

答 搬入された土砂は、第三種建設発生土であり、工事現場から発生している。極力異物等を取り除かせているが、全てを除くことは難しい。

委員会行政視察レポート

総務常任委員会

1. 日程…平成29年10月10日～12日
2. 視察先 (1)福島県二本松市 (2)伊達市
- (3)須賀川市

3. 視察内容

(1)二本松市（新二本松市市政改革推進行動計画について）

今までも業務の取り組み自体は行っており、行革的な内容というよりは、業務改善という、金額面というよりは、効率化、能率化の面を強調していると感じた。

今回の計画を遂行することが何よりも大切であるところと説明いただいた職員の方の熱意は、直接お話をいただかないとなかなか感じ取ることが難しく、またその熱が徐々に伝播しているさまを感じ取れた。計画や中身もさることながら、やはり「人」であるなど改めて感じた。



(2)伊達市（伊達市地域自治組織について）

伊達市が作成した「政宗ダテニクル」をはじめ、様々なコンテンツを用いてシティブロモーションの取り組みをしていると感心した。自治組織活動も同様であるが、作ることそれ自体を目的化しないように、あくまで手段としての活動をと職員の方が認識している点は、参

考になった。

当市もそうであるが、これをすれば地域は活性化するというものも、一時的に財政支出を行うといったカンフル剤のようなものでもなく、着実に取り組み続けることの必要性を痛感した。

(3)須賀川市（須賀川市新庁舎整備について）

庁舎というよりは、デザインオフィスというイメージが強く感じられた。みんなの家というコンセプトを前面に出し、全て誰がどのように使うのか、またその時にどうすればより使い勝手がよいのかという点に対し、物語性（全体というよりは、個々の使い勝手）を熟慮した様子が伺えた。

かけた費用や全館建て替え等、当市とは前提が異なることも多いが、特にソフト面からのアプローチについては、当市にとって大変有益で参考になるものがあった。

（清宮 一義記）

都市環境常任委員会

1. 日程…平成29年10月25日～27日
2. 視察先 (1)徳島県阿南市 (2)徳島市
- (3)吉野川市

3. 視察内容

(1)阿南市（エコパークについて）

エコパーク阿南は、建設経緯や施設規模、ごみ処理量、運営方式など四街道市の次期ごみ処理施設とよく似ており、参考になることが多数あった。建設経緯については、当初はごみ処理広域化を検討したが、関係自治体の調整が不調に終わり、平成18年10月に広域化を断念し、阿南市単独での施設整備計画を策定し、平成19年度から平成25年度までの7カ年の循環型社会形成推進交付金事業として整

備を行った。

四街道市の次期ごみ処理施設と大きく違う点は、灰溶融炉が併設されており、焼却灰の体積を約2分の1まで処理し、最終処分場の埋立て軽減を図っていることである。

地域振興策は阿南エコパーク建設に伴う地域住民へ、津波対策や農業

用施設整備、集会所建て替えなどである。建設地が小勝島の県公共用地ということもあるのか温浴施設などは建設されていない。

(2)徳島市（空き家対策について）
危険な廃屋化した建築物の解体、撤去、処分にかかる工事費用を補助し、補助額は1軒あたり上限30万円。平均的な木造2階建てを解体する場合約111万円かかるとの事で、持ち主の負担は約80万円になり、解体処分した後は不動産業者に売却する場合は多いとのこと。この補助制度は平成22年度から開始され初年度は5件の実績が平成29年度は28件に増加し、徳島市にはたくさん空き家或いは空き部屋（マンション、アパート等）がまだまだたくさんあり増加傾向にもあるのが実情である。

(3)吉野川市（ほたる館について）
川に寄り添うように建った「美郷ほたる館」は、ホテルと美郷の自然と暮らしを受け継ぎ伝える総合案内所。美郷がホテル及びその発祥地として、1970年に国の天然記念物に指定され、その背景には旧中枝小学校の子どもたちが作ったホテル研究クラブや、ホテル愛護の会の活動があった。館長さんのお話の



なかで印象的だったのが、川には生活排水が流れているが、それによりコケが発生してカワニナの餌になる。水がいくらきれいでもホタルの生息には欠かせないカワニナの生息が重要なポイントなのだ」と改めて学んだ。

(清水 清子記)

教育民生常任委員会

1. 日程・平成29年10月18日～20日
2. 視察先 (1)広島県福山市 (2)竹原市 (3)江田島市
3. 視察内容

竹原市(ICT活用教育について)では、平成25年度からタブレット端末の実証実験が始まり、それに伴い3人のICT支援員を広島県の加配で確保して、本格導入の準備を進めました。平成27年度には、地方創生先行交付金を活用して、1億円の事業費で全校に導入されて、今日に至っています。

竹原市のICT教育の特徴は、一言でいえば、ICT教育という枠を超越したICT教育ということになります。ICT教育を通じて、「想像力」を養い、考えを表現する機会が増えていく。ICTを通じて地域とつながる、まさにフル活用されています。家庭科の授業ではタブレットを活用したり、体育の授業では動画で自分の動きをチェックしたり、プレゼンや討論会がタブレットを活用して行われています。何より印象的だったのは、国語の授業の一環での動画製作です。ACジャパン風の竹原版公共CMの製作や、NHKのプロフェッショナル風のド

キュメンタリー製作では、原案の制作から、地域の方々への取材、編集まで一貫して小学生の手で行われており、その技量の高さに驚がくしました。また、美味しい水として有名な竹原の水を商品化しようとしてペットボトルのパッケージの製作なども行われていて、まさに前述の「3つの学び」を具現化したものでした。また、動画のBGMの選曲も秀逸で聞くと、担任の先生が選んだとのこと、先生の児童に対する深い愛情と教育に対する情熱を感じ取りました。このほか、福山市では、小中一貫教育について、江田島市では図書館ボランティアについて、先進的な事例を学ばせていただきました。

(森本 次郎記)



※ACジャパンとは、広告を通じて様々な提言を発し、住みよい市民社会の実現を目指す公益社団法人

お詫びと訂正

議会だよりNo.188に誤りがございました。お詫びの上、次のとおり訂正いたします。

- 14ページ1段目 誤 欠けているが通常の
- 正 欠けているのが通常の
- 15ページ1段目 誤 祥子
- 正 翔子

表紙写真を募集します

議会だよりでは、市民のみなさまに募集いただいた写真を表紙に掲載いたします。募集要領は以下のとおりです。奮って応募ください。

募集要領

- 規格：2L(紙焼き)、カラーあるいはモノクロ(未発表、未公開のオリジナル作品)
※写真は編集上、トリミングすることがあります。また、応募された作品は返却いたしませんのでご了承ください
- 内容：四街道市内の風景
※明らかに人物を特定できる場合はご本人の了承を得てください
- 審査：広報広聴特別委員会
- 発表：採用された作品は、次号以降に発行の議会だよりに掲載予定
※賞品等はありませんのでご了承ください
- 著作権：作品の著作権は製作者本人に帰属
※ただし、6カ月間他媒体での発表等をご遠慮いただくことを作品採用の条件といたします
- 応募方法：平成30年4月6日(金)(当日消印有効)までに、写真の裏面に撮影者の①住所②氏名③年齢④電話番号⑤撮影年月日⑥撮影場所⑦作品名を記入の上、〒284-8555 四街道市鹿波無番地 四街道市議会事務局宛て郵送
- 問い合わせ：TEL.043-421-6152 FAX.043-424-2016
市ホームページアドレス
<http://www.city.yotsukaido.chiba.jp/>

編集後記

議会は、「税金は適正に使われているか。」「市民サービスは充実しているか。」「などの監視役としての役割とともに、「こんな不便なことがある。」「こんな取り組みをやってほしい。」等々、市民の皆さんの声を市政に反映していく、重要な役割もあります。それぞれの議員の活動の中でお聞きするご意見とともに、議会報告会は、貴重な場です。ともに創り、ともに育てる、より住み良い四街道市とするためにも、ご意見を聞く場をできる限りつくってまいります。

(広瀬 義積記)

広報広聴特別委員会委員

- ◎広瀬 義積
- ◎中島 康一
- 阿部百合子
- 大越登美子
- 西塚 義尊
- 坂本 弘毅
- 阿部 治夫
- (◎委員長 ○副委員長)